

## 水中を泳ぐ？ぷかぷか漂う？不思議なウミウシたちを紹介 ミカドウミウシとフウセンアメフラシを展示します

大阪市港区の海遊館に隣接する天保山マーケットプレースの「ウミウシ minimini 水族館」では、平成 29 年 2 月 7 日（火）から、ミカドウミウシ（体長 25cm、1 個体）とフウセンアメフラシ（体長 2.5cm、1 個体）を展示します。両種とも水中を泳ぐ特徴的な生態を持ち、水族館などでの展示は珍しい種類です。

ミカドウミウシは最大で 60cm にもなることが知られる大型種で、海中で体をくねらせて泳ぐ様子がフラメンコの踊り子のように見えることから「スパニッシュ・ダンサー」とも呼ばれます。

展示するミカドウミウシは、平成 29 年 2 月 3 日に高知県土佐清水市の定置網で発見されました。海中を泳いでいるうちに定置網に紛れ込んだと考えられ、発見例が少なく生きた姿を観察する機会は貴重であることから大阪海遊館海洋生物研究所いぶりセンターに搬入したのち、「ウミウシ minimini 水族館」で展示することにしました。今回は、ウミウシと共生しているウミウシカクレエビ（2 匹）と一緒に展示します。

また、同時に展示するフウセンアメフラシは、驚いたときなどに風船のような姿でぷかぷかと漂うように海中を移動する珍しい行動をするアメフラシの仲間です。背中の中にある側足（そくそく）の間に海水を吸い込み、吹き出すことを繰り返して、ゆらゆらと揺れながら移動します。今回展示する個体は、きしわだ自然資料館（大阪府岸和田市）の柏尾翔学芸員が和歌山県白浜町で採集したもので、「ウミウシ minimini 水族館」では初めての展示となります。

「ウミウシ minimini 水族館」は、ウミウシやアメフラシの飼育展示に特化したコーナーで、現在約 25 種 120 点がご覧いただけます。今回展示する 2 種をはじめ、カラフルな姿と不思議な生態の多様性に興味を持っていただけたらと考えています。

### 「ウミウシ minimini 水族館」について（観覧無料）

時 間 11：00～20：00 ※天保山マーケットプレースの営業時間に準じます

場 所 天保山マーケットプレース 3 階

休館日 平成 29 年 2 月 15 日（水）、16 日（木）

展示種 （予定）アオウミウシ、アカエラミノウミウシ、シラヒメウミウシなど  
※種を入れ替えながら展示を行います。時期により展示種が異なります。



ミカドウミウシ（左）

ウミウシカクレエビ（右）



フウセンアメフラシ